

第4回 三重県議会「政策セミナー」開催要領(案)

趣 旨

県政において防災・減災対策の推進は重要な課題であり、県議会としても、地域の災害対応力の向上を図る「自助」「共助」の活動の促進や、日常生活に防災の取組を溶け込ませていく「防災の日常化」への取組が、総合的に進められているかについて注視しているところである。

こうした中、東日本大震災から3年が経過するにあたり、鮮烈な震災の記憶を忘れることなく語り継ぎ、災害の経験を防災・減災対策の推進に役立てる必要がある。

このため、今回のセミナーでは、被災地の実情を熟知する災害ボランティアの実践者として、また、人と人とのネットワークを重視した災害に強いまちづくり活動のリーダーとして、地域に根ざした自主防災活動を進めてこられた経験をお話しいただき、今後の議会における政策議論の充実・深化に繋げるものとする。

日時・場所

平成26年3月17日(月) 13:00~14:30
三重県議会議事堂3階 全員協議会室

講師・演題

「向こう三軒両隣 皆で助け合うために」

講師：南部 美智代 氏(NPO法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿 理事長)



阪神大震災を契機に災害ボランティア活動を開始する。

防災教育にも積極的で、南海トラフ巨大地震に対応できる子どもを育てようと、小学生の防災研修に力を注いでいる。

その活動は全国的にも高く評価されており、昨年11月にはNHK全国放送で「教えて！ 防災おばあちゃん」と題して、災害の厳しさと教訓を伝える活動の特集が組まれた。

平成22年度防災功労者防災大臣表彰

みえの防災大賞 平成19年度大賞、平成18年度奨励賞

平成25年度内閣府「防災ボランティア活動検討委員会」検討委員など